

テントの中や車の中で 『ガス燃焼器具』 や『炭火』は 絶対に 使わないで!!

一酸化炭素中毒・酸欠によって
死に至る危険があります。

ごく短い時間で
一酸化炭素濃度が
上昇します。
換気のため
入り口を
開けていても
危険!

燃焼によって
酸素が不足
していきと
不完全燃焼を起こして
一酸化炭素が
発生します。



少量でも
吸引すると
危険!!



一酸化炭素は
無色・無臭!!
気がつかないうちに
体内に入り込みます

ガス器具は正しく使って、安全にアウトドアを楽しもう!

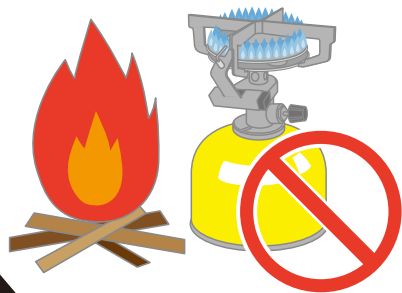
事故防止のため必ず守ってください



01

他の熱源の近くにガス缶を置かない

外部からの熱でガス缶が爆発する恐れがあります。



02

ガス缶に熱が伝わる調理や使い方をしない

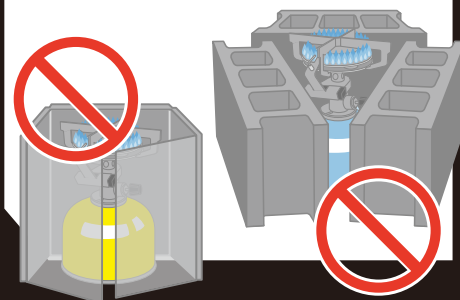
ガス缶が爆発する恐れがあります。



03

器具全体を囲いこむ使い方をしない

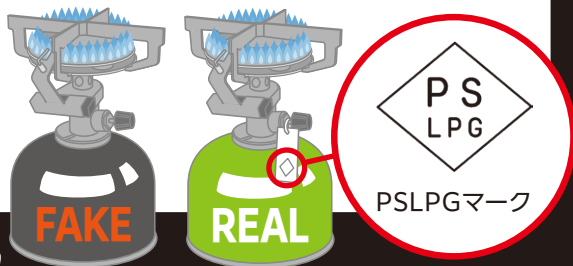
器具とガス缶全体を囲いこむ状態で使用すると、異常過熱・異常燃焼・延焼が生じて火事や爆発の恐れがあります。



04

法令違反品を買わない・使わない

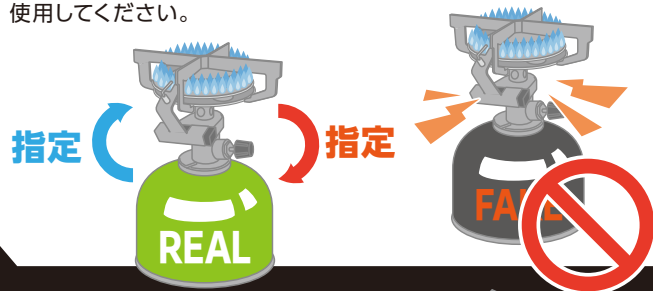
アウトドアで使うガスバーナーは、法令で定められた検査に合格しないと販売してはならない製品です。合格した製品には◇PSLPGのマークが本体に表示されています。◇PSLPGのマークのない法令違反品は安全性の確認がされていない商品で、危険です。法令違反品は「買わない」「使わない」ようにしてください。



05

ガス器具とガス缶は指定されていない組合せでは使用しない

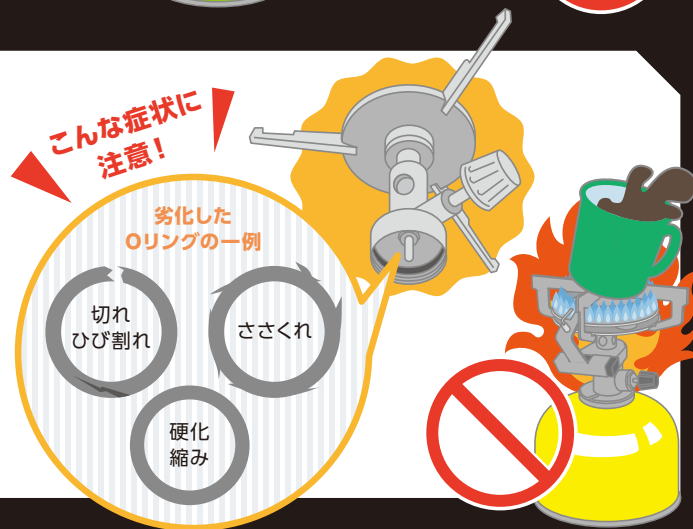
ガス缶に使用器具として表示されている器具以外を接続すると、ガス漏れや異常燃焼が起きて事故に至る恐れがあります。ガス器具とガス缶は相互に指定された組合せでのみ使用してください。



06

劣化した製品は使わない

ガス器具は経年劣化します。特にゴム部品「Oリング」は、年月が経過することで「硬化・ひび割れ」「寸法の縮み」が生じてきます。そのようになったガス器具を使うと、漏れ出したガスに引火して、火傷や破裂・火災などの大きな事故にいたる恐れがあります。古い製品は使用しないで新しい製品に買い替えしてください。よくわからない場合は使用前にメーカーに点検依頼などご相談ください。



絶対にしないでください。

★空になったガス缶に他のガス容器からガスを再充填することは極めて危険で、違法行為です。